

全国の建築士会で受講できます!

改正宅地建物取引業法に対応した



既存住宅状況調査 技術者講習のご案内

改正宅建業法の重要事項説明の既存住宅状況調査をするには
この講習会を修了し、登録されることが必要です。

「既存住宅状況調査」は新たな建築士業務です!!

平成28年6月に宅地建物取引業法が一部改正され、
平成30年4月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」に関する説明が義務付けられます。
そして、既存住宅状況調査の実施は、登録機関の講習を終了した建築士のみ認められており、
建築士の新たな業務として期待されています。

【従来の建築士会インスペクター登録との違い】

従来のインスペクター登録は、長期優良住宅化リフォーム推進事業における現況検査を行うためのものであり、既存住宅状況調査は実施できません。ただし、従来のインスペクター登録者を対象として、規定の講義の一部を免除した「移行講習」を設けております。なお、建築士会以外の団体に登録している従来のインスペクターの方でも、本講習を受講することで既存住宅状況調査技術者の登録が可能です。

【全国の建築士会が講習会を実施】

日本建築士会連合会は、既存住宅状況調査技術者講習団体として国土交通省に登録されました。今後、全国都道府県の建築士会が講習会を実施する予定です。
建築士の方はぜひこの機会に建築士会の講習を受講いただき、新たな建築士業務の資格を取得してください。

講習のメリット

- ① 建築士だけに認められた業務である「既存住宅状況調査」の技術を幅広く習得
国土交通省告示「既存住宅状況調査方法基準」に基づく調査方法や、関係法令、調査報告書の記載方法などの幅広い知識を身につけることができます。
- ② 公益社団法人に登録することにより高い信頼性を消費者等へアピール
本講習修了者は、建築士法に基づく公益社団法人である日本建築士会連合会のホームページで公表しますので、消費者等へ高い信頼性をアピールできます。
- ③ 既存住宅状況調査結果を活用した既存住宅売買瑕疵保険への加入が可能
- ④ 長期優良住宅化リフォーム推進事業における現況検査も可能となる予定
- ⑤ 建築士会CPD5単位(移行講習は3単位)を付与
講習修了者には、官公庁の設計・工事入札に活用できる建築士会CPD単位を付与します。

『新規講習』のご案内

CPD5単位

受講対象 一級、二級、木造建築士
講義1(2時間)+講義2(3時間)+修了考査(50分)

▼受講料 21,600円【WEB申込:21,060円】(税込)
(テキスト・修了証明書交付費用・登録料を含む)

▼講座内容

講義1(120分)	既存住宅流通市場の現状と国の取り組み状況 既存住宅状況調査技術者の役割 既存住宅状況調査の概要 公正な業務実施のための遵守事項 既存住宅状況調査の手順 情報の開示(+10分) 既存住宅売買時における調査結果の活用
講義2(180分)	既存住宅状況調査方法基準とその詳細(その1) 既存住宅状況調査方法基準とその詳細(その2) 既存住宅状況調査に付随する非破壊検査その他の調査 検査機器 調査報告書の記入 住宅の瑕疵の事例
	修了考査

『移行講習』のご案内

CPD3単位

受講対象 国土交通省の長期優良住宅化リフォーム推進事業のインスペクターとして講習登録団体に登録されている建築士(一級、二級、木造)
※建築士会登録以外の、他団体登録インスペクターの方でも受講できます。
講義1(1時間)+講義2(2時間)+修了考査(50分)

▼受講料 17,280円【WEB申込:16,740円】(税込)
(テキスト・修了証明書交付費用・登録料を含む)

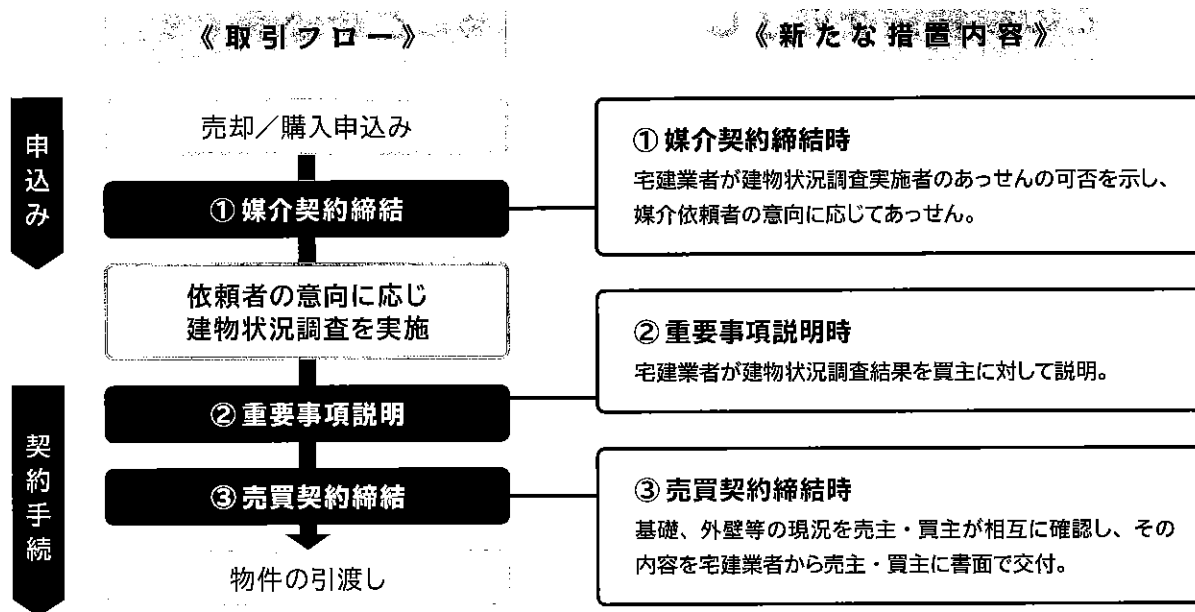
▼講座内容

講義1(60分)	既存住宅流通市場の現状と国の取り組み状況 既存住宅状況調査技術者の役割 既存住宅状況調査の概要 遵守事項、調査の手順、情報開示 既存住宅売買時における調査結果の活用
講義2(120分)	既存住宅状況調査方法基準とその詳細(その1) 既存住宅状況調査方法基準とその詳細(その2) 既存住宅状況調査に付随する非破壊検査その他の調査 検査機器 調査報告書の記入 住宅の瑕疵の事例
	修了考査

(公社)日本建築士会連合会は、改正宅地建物取引業法に対応した「既存住宅状況調査技術者講習」を全国で実施します!

宅地建物取引業法の改正に伴い、平成30年4月から建物状況調査等に関する措置が施行されます。

平成28年6月、宅地建物取引業法が改正され、売主・買主が安心して既存住宅の取引ができる市場環境を整備することを目的に、既存建物の取引に係る情報提供の充実に関する以下の三つの措置が講じられました。これらの措置は、平成30年4月から施行されます。



講習修了者には、修了証明書と既存住宅状況調査技術者カード(顔写真入り)を交付します。

※講習修了者の氏名、勤務先等を日本建築士会連合会のホームページで公表します。



「日本建築士会連合会」のホームページをご確認ください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp>

WEBでお申込みの場合

申込ページにて必要事項を入力し送信

受講料を金融機関へ振込み(振込手数料は申込者様のご負担となります)

郵送でお申込みの場合

申込書をダウンロードし必要事項を記入

受講料の払込証明書を貼付し、日本建築士会連合会へ郵送(郵送料は申込者様のご負担となります)

日本建築士会連合会より受講票を郵送またはメール送信

▼お問い合わせ

公益社団法人 日本建築士会連合会 既存住宅状況調査技術者講習実施本部
〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 TEL: 03-3456-2061

平成29年度 防災人材育成研修

防災・減災カレッジ

～地域協働による

“ひと・まち・みらい”

の創造～



あいち防災キャラクター
防災ナマズン

防災士の資格も
取れるよ!

主催：あいち防災協働社会推進協議会

共催：愛知県、名古屋市、国立大学法人名古屋大学、愛知県商工会議所連合会、一般社団法人中部経済連合会

防災のための愛知県ボランティア連絡会、なごや災害ボランティア連絡会

協力：豊田市

この地域では、東海地震、東南海地震、南海地震等の南海トラフの巨大地震発生が危惧されることから、来るべき超広域大規模災害への備えを確かなものにしていくため、平成24年度に行政、事業者団体、地域団体、ボランティア団体等で構成するあいち防災協働社会推進協議会において、名古屋大学、防災のための愛知県ボランティア連絡会及びなごや災害ボランティア連絡会と連携し、「防災・減災カレッジ」を開設し、防災人材の育成をしています。

募集期間
5月15日～6月12日

※ 後期に実施する研修（防災基礎研修C、D、後期各コース等）において、定員を満たしていない場合は、追加募集します。追加募集についてはあいち防災協働社会推進協議会HP（<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/bosai/0000003405.html>）にて7月頃にお知らせします。

●追加募集期間：8月22日（火）～9月4日（月）

【開催時期】平成29年6月26日（月）～平成30年1月27日（土）

【会場】名古屋大学、豊田市福祉センター、愛知県西三河総合庁舎

【受講料】防災基礎研修1日 + 各コース2日間：3,000円（但し、企業防災コース後期のみ7,000円）

※複数のコースを受講できますが、受講料の割引はいたしません。

※他に選択講座及び防災・減災ツアーがあります。（受講料は別に必要です。）詳しくは裏面をご覧ください。

【申込みから受講開始まで】

- ① WEB上の所定のページ（<http://rsy-nagoya.com/rsy/>）又は下のQRコードより入力画面に進んでお申し込みいただくか、裏面の受講申込書に記入の上、FAX（052-253-7552）でお申し込み下さい。先着順に受けさせていただきます。
- ② 受講が確定しましたら、メール又はFAXで振込方法、振込期限等のご案内を差し上げます。定員に達した場合には、お断りさせていただくこともございますので、ご了承ください。
- ③ テキストは研修当日にお渡しいたします。

【資格認証】

- ① 防災・減災カレッジ防災リーダー証
「防災基礎研修」+「地域防災コース」+「啓発指導講座」の修了者
- ② 防災・減災カレッジ防災ボランティアコーディネーター証
「防災基礎研修」+「防災VCoコース」の修了者
- ③ 防災・減災カレッジまちづくりアドバイザー証
「防災基礎研修」+「地域防災コース」の修了者

【防災士資格取得について】

以下の①～③の条件をすべて満たした方は、防災士資格取得試験の受験資格が得られます。

- ① 市民防災コースを修了すること。
- ② 次のいずれかのコースを1つ修了すること。
企業防災コース、防災行政コース、地域防災コース、防災VCoコース
- ③ 防災士教本に基づく所定のレポートを提出すること。

※別途、教本代、試験受験料が必要です。

※合格後の認証登録時には、普通救命講習の修了証と認証登録料が必要です。（修了されていない方は、救命救急講座をご受講ください）

※平成24年度～28年度開催の防災・減災カレッジで受講したコースと本年度受講コースを合わせて上記の内容を満たしていれば、受験資格は得られます。

※平成30年2月に防災士資格取得試験の実施を予定しています。詳細については別にお知らせ致します。



申し込み画面へ

防災基礎研修

名古屋会場 **A** 6月26日(月) 500名:名古屋大学 豊田講堂
C 9月17日(日) 500名:名古屋大学 豊田講堂

9:00~ 9:10	開校式	あいさつ・オリエンテーション	
9:15~10:25	防災概論	名古屋大学 減災連携研究センター長・教授	福和 伸夫
10:35~11:45	自然災害概論	名古屋大学大学院 環境学研究所教授	山岡 耕春
12:45~13:55	防災ボランティア概論	認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード代表理事	栗田 暢之
14:05~15:15	防災行政概論	愛知県 防災局防災危機管理課長	内田 康史
15:25~16:35	企業防災概論	一般社団法人日本損害保険協会中部支部 <small>前期</small> 東京海上日動リスクコンサルティング(株) ビジネスリスク本部 主席研究員 <small>後期</small> SOMPO リスクアマネジメント(株) リスクマネジメント事業本部 BCM コンサルティング事業部長	坂本 憲幸 篠目 貴大

三河会場 **B** 7月2日(日) 400名:豊田市福祉センター
D 10月11日(水) 250名:西三河県民事務所

9:00~ 9:10	開校式	あいさつ・オリエンテーション	
9:15~10:25	防災概論	名古屋大学 減災連携研究センター寄附研究部門教授	武村 雅之
10:35~11:45	自然災害概論	名古屋大学 減災連携研究センター教授	鷺谷 威
12:45~13:55	防災ボランティア概論	災害ボランティアコーディネーターなごや代表	高崎 賢一
14:05~15:15	防災行政概論	愛知県 防災局防災危機管理課主幹	川島 洋和
15:25~16:35	企業防災概論	一般社団法人日本損害保険協会中部支部 <small>前期</small> 中部支部 <small>後期</small> (株) インターリスク総研 事業継続マネジメントグループ マネージャー・上席コンサルタント	未 定 飯田 剛史

選択講座

啓発担当講座 前期 〇9月15日(金) 40名:名古屋大学 豊田講堂
後期 〇11月29日(土) 40名:名古屋大学 豊田講堂

9:30~10:30	先進事例紹介	特定非営利活動法人 災害ボランティアネットワーク 総務理事	南部 美智代
10:40~12:50	ファシリテーター養成	パブリックハーツ(株) 代表取締役	水谷 香織
13:40~14:40	学校における防災教育	愛知県 教育委員会健康学習課主査	鈴木 照
14:50~15:50	室内の地震対策	たくみ設計室	鈴木 啓之
16:00~17:00	身近なものでできる応急手当等	あいち防災リーダー会啓発本部長	早川 澄男

メディア講座 〇11月20日(土) 50名:名古屋大学 豊田講堂

9:30~10:30	災害取材の基本	名古屋大学 減災連携研究センター 客員教授	隈本 邦彦
10:40~11:40	災害報道でよくある失敗		
11:50~12:50	現役新聞記者の経験から	中日新聞社 名古屋本社 社会部防災担当	後藤 厚三
13:40~14:40	テレビデスクの経験から	中京テレビ放送(株)	高橋 宏明
14:50~15:50	報道のために必要な地震・津波の基礎知識	名古屋大学 減災連携研究センター 客員教授	隈本 邦彦
16:00~17:00	質疑応答・討論	上記、メディア講座講師陣	

救命救急講座 前期 〇10月7日(土) 30名:名古屋大学 豊田講堂
後期 〇11月20日(土) 30名:名古屋大学 豊田講堂

9:30~12:30	救命救急講座	名古屋市消防局
------------	--------	---------

市民防災コース 前期 ●7月22日
後期 ●10月14日

9:30~10:30
10:40~11:40
11:50~12:50
13:40~14:40
14:50~15:50
16:00~17:00

各期 80名

企業防災コース 前期 ●8月18日
後期 (BCP未策定企業向け)

9:30~10:00
10:10~17:00

企業防災コース 後期 ●11月10日
後期 (BCP策定中・策定済)

9:30~13:50
14:00~17:00

各期 60名

防災行政コース 前期 ●7月7日
後期 ●12月1日

9:30~10:30
10:40~11:30
11:40~12:40
13:30~14:20
14:30~15:20
15:30~17:00

各期 50名

合同防災VCOコース 前期 ●8月
後期 ●11月

9:30~10:30
10:40~11:40
11:50~12:50
13:40~14:40
14:50~17:00

各期 50名 各期 30名

防災・減災ツアール
 ●【三の丸】 14:00~17:00 中部愛知
 ●【歴史地震】 14:00~17:00 歴史

※各コース、講座の終了後に修了証を授与いたします。(10分程度)
 ※敬称略 ※講師等は急遽変更する場合がございます。

日(土)：名古屋大学 環境総合館レクチャーホール → ●7月29日(土)：名古屋大学 環境総合館レクチャーホール
 日(土)：名古屋大学 環境総合館レクチャーホール → ●10月28日(土)：名古屋大学 環境総合館レクチャーホール

自然災害の歴史、災害事例に学ぶ地震のしくみと被害	名古屋大学 減災連携研究センター教授 鷺谷 威	9:30~10:30	住まいの安全と防災まちづくり	前期 名古屋大学 減災連携研究センター研究員 千葉 啓広 後期 名古屋大学 減災連携研究センター准教授 平山 修久
地震と火山	名古屋大学大学院 環境学研究科准教授 山中 佳子	10:40~11:40	災害情報	名古屋大学 災害対策室教授 飛田 潤
災害医療と看護	名古屋第二赤十字病院 救急科部長 稲田 眞治	11:50~12:50	建築物の耐震化	名古屋大学 減災連携研究センター 社会連携部門特任教授 護 雅史
地震動と液状化	名古屋大学 減災連携研究センター 副センター長・教授 野田 利弘	13:40~14:40	心のケア	名古屋大学 発達心理精神科学 教育研究センター教授 窪田 由紀
水害と避難	名古屋大学大学院 環境学研究科准教授 田代 喬	14:50~15:50	地形と活断層	名古屋大学 減災連携研究センター教授 鈴木 康弘
津波と高潮	名古屋大学大学院 工学研究科教授 水谷 法美	16:00~17:00	防災教育論	三重大学大学院 工学研究科准教授 川口 淳

日(金)：名古屋大学 減災館 → ●9月8日(金)：名古屋大学 減災館

愛知県の中小企業のBCPについて	愛知県産業労働部中小企業金融課主幹 長谷川 康征	9:30~17:00	事例報告	株式会社マルフ 代表取締役社長 鳥原 久資 他
BCP概論 & BCP策定演習	一般社団法人 日本損害保険協会 中部支部 副インテグレーション総研 事業継続マネジメントグループ マネージャー・上席コンサルタント 飯田 剛史		ワークショップ	名古屋大学 減災連携研究センター 寄附研究部門准教授 都築 充雄 名古屋大学 減災連携研究センター 産学共同研究部門 特任准教授 菅沼 淳 名古屋大学 減災連携研究センター 副センター長兼寄附研究部門教授 曾根 好徳

日(金)：名古屋大学 減災館 → ●11月17日(金)：名古屋大学 減災館
 (企業向け)

訓練実施によるBCMの運用	一般社団法人 日本損害保険協会 中部支部 東京海上日動リスクコンサルティング(株) ビジネスリスク本部 主席研究員 坂本 憲幸	9:30~17:00	ワークショップ	名古屋大学 減災連携研究センター 寄附研究部門准教授 都築 充雄
事例報告	愛知機械工業(株) 常務執行役員 荒川 卓也 (株)デンソー豊橋製作所長 古海 盛昭 (株)NTTドコモ東海支社ネットワーク部 災害対策室長 速水 宏也			名古屋大学 減災連携研究センター 産学共同研究部門 特任准教授 菅沼 淳 名古屋大学 減災連携研究センター 副センター長兼寄附研究部門教授 曾根 好徳

日(金)：名古屋大学 減災館 → ●7月14日(金)：名古屋大学 減災館
 日(金)：名古屋大学 減災館 → ●12月15日(金)：名古屋大学 減災館

日本の防災行政の変遷	名古屋大学 減災連携研究センター 社会連携部門特任准教授 阪本 真由美	9:30~10:30	県警の活動状況	愛知県警災害対策課課長補佐 水越 隆美
防災と対応力の強化(地震)	愛知県 防災局 防災危機管理課課長補佐 垣本 宏治	10:40~11:40	消防活動について	前期 名古屋市消防局消防部 消防課主任 加藤 丈治 後期 豊川市消防署専門員 堀内 宏文
防災と対応力の強化(風水害)	愛知県建設部 河川課課長補佐 佐藤 正裕	13:00~14:10	減災まちづくりの展開	名古屋都市センター 調査課研究主査 吉岡 美保
自治体における危機管理	愛知県 防災局 防災危機管理課主任主査 伊藤 敏明	14:20~14:50	行政における協働	前期 名古屋市 市民活動 推進センター 所長 新美 君栄 後期 愛西市市民協働部 防災安全課 生田 一
災害救助法	愛知県 防災局 災害対策課主任 井上 和美	15:00~17:00	クロスロードゲーム	防災ボラネット守山代表 鷲見 修
避難所運営ゲーム	愛知県 防災局 災害対策課主事 木村 泰代			

日(土) 80名：名古屋大学減災館
 日(土) 80名：名古屋大学環境総合館レクチャーホール

30	地域防災力の向上	認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード 常務理事 浦野 愛
40	災害時要援護者論	愛知県 健康福祉部地域福祉課
50	避難所運営	美浜町総務部 防災安全課防災専門官 山田 英一
40	先進事例紹介 (自主防災組織等)	豊橋防災ボランティアコーディネーターの会 東海市船島防災まちづくり研究会 東栄・今本町自主防災会 (安城市)
00	ワークショップ 「地域防災力を高めるためのアイデア出し」	認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード 常務理事 浦野 愛 名古屋みどり災害ボランティア ネットワーク代表 岡田 雅美 防災のための愛知県ボランティア連絡会 なごや災害ボランティア連絡会

地域防災コース

前期 ●9月2日(土) 50名：名古屋大学環境総合館レクチャーホール
 後期 ●12月9日(土) 50名：名古屋大学環境総合館レクチャーホール

9:30~12:50	災害図上訓練(DIG)	特定非営利活動法人 あいち防災リーダー育成支援 ネット理事長 太田 貴代子
13:40~17:00	自主防災組織の活性化演習	

防災VCoコース

前期 ●9月9日(土) 30名：名古屋大学 減災館
 後期 ●12月16日(土) 30名：名古屋大学 減災館

9:30~11:30	災害ボランティアセンターの機能と役割	愛知県社会福祉協議会 地域福祉部部长 石黒 学
11:30~15:30	災害ボランティアセンターの設置・訓練	愛知県社会福祉協議会 災害対策支援部会 防災のための愛知県ボランティア連絡会 なごや災害ボランティア連絡会
15:30~17:00	災害ボランティアセンターに必要なつながりを考える	名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター

10月17日(火) 40名

地方整備局 愛知県庁本庁舎 無線統制室
 県自治センター 災害情報センター 愛知県庁西庁舎 耐震通信局

10月21日(土) 40名

日(土) 地震(本山) 名古屋大学 減災連携研究センター 寄附研究部門教授 武村 雅之

【講義等の中止】

※以下のいずれかに該当する場合は、講義等は中止します。

- (1) 県内の一部又は全域に大雨、洪水、暴風、高潮における警報又は大雨、暴風、高潮、波浪における特別警報、「伊勢・三河湾」又は「愛知県外海」における津波警報又は特別警報（大津波警報）のいずれかが発表され、かつ、県内の一部又は全域に相当規模の災害が発生した場合又は発生する恐れがある場合
- (2) 東海地震に関連する情報（東海地震に関連する調査情報（定例）を除く。）が発表された場合
- (3) 県内で震度5弱以上、又は名古屋市で震度4以上の地震が発生し、かつ、県内の一部又は全域に相当規模の災害が発生した場合又は発生する恐れがある場合

※本事業は、あいち防災協働社会推進協議会が認定特定非営利活動法人レスキューストックヤードに委託して行っております。

（問い合わせ先 メール：college@rsy-nagoya.com TEL：052-253-7550）

※主催・共催団体からの講師の方々は、謝金なしでご協力いただいております。



申し込み画面へ

※ネットからの申込みが確実です（FAX 申込みの場合は、満席のご連絡が遅くなる場合があります。）

平成29年度 防災・減災カレッジ受講申込書 (FAX用)

以下のとおり防災・減災カレッジへ申し込みます。

FAX: 052-253-7552

ふりがな		性別	男 ・ 女	年代 (○で囲む)	～29・30～39・40～49
お名前					50～59・60～69・70～
E-mail アドレス ※PCメールを受け取れる アドレスであること	@			防災・減災カレッジ以外の防災に関するお知らせ（メールのみ） □受け取らない（必要の無い方はチェックを入れてください。）	
メールアドレスの無い方のみ FAX 番号必須	()	—			
ご住所	〒	—	電話番号 (日中ご連絡 が取れる番号)	()	—
職業	①会社員 ・ ②自営業 ・ ③公務員 ④学生 ・ ⑤主婦 ・ ⑥無職			所属団体名（企業防災コース、防災行政コース受講者は必須）	
参加動機	①職業上必要 ・ ②地域防災活動に役立てるため ・ ③知識習得のため ④その他 ()				

〈参考〉防災基礎研修日程／会場 A：6月26日／名古屋大学豊田講堂 B：7月2日／豊田市福祉センター
C：9月17日／名古屋大学豊田講堂 D：10月11日／西三河県民事務所

	↓金額を○で囲む	↓□に〇し、() 部分のどちらかを○で囲む
コース受講 ※防災基礎研修を先に受け、合計3日間の受講が修了の条件です。 ※防災基礎研修料が、含まれています。	¥3,000	市民防災コース <input type="checkbox"/> 基礎は (6/26・7/2) に出席し、(前期・後期) を受講 <input type="checkbox"/> 基礎は (9/17・10/11) に出席し、後期を受講 ※前期は取れません
	前期 ¥3,000 後期 ¥7,000	企業防災コース <input type="checkbox"/> 基礎は (6/26・7/2) に出席し、(前期・後期) を受講 <input type="checkbox"/> 基礎は (9/17・10/11) に出席し、後期を受講 ※前期は取れません
	¥3,000	防災行政コース <input type="checkbox"/> 基礎は (6/26・7/2) に出席し、(前期・後期) を受講 <input type="checkbox"/> 基礎は (9/17・10/11) に出席し、後期を受講 ※前期は取れません
	¥3,000	地域防災コース <input type="checkbox"/> 基礎は (6/26・7/2) に出席し、(前期・後期) を受講 <input type="checkbox"/> 基礎は (9/17・10/11) に出席し、後期を受講 ※前期は取れません
	¥3,000	防災 VCo コース <input type="checkbox"/> 基礎は (6/26・7/2) に出席し、(前期・後期) を受講 <input type="checkbox"/> 基礎は (9/17・10/11) に出席し、後期を受講 ※前期は取れません
防災基礎研修のみ受講	¥1,000	<input type="checkbox"/> A：6月26日 <input type="checkbox"/> B：7月2日 <input type="checkbox"/> C：9月17日 <input type="checkbox"/> D：10月11日
選択講座・ 防災・減災ツアー ※先に防災基礎研修を受講する必要があります。	¥1,300	啓発指導講座 (9月15日(金))※防災基礎研修CまたはDの方は受講できません・1月27日(土))
	¥1,000	メディア講座・1月20日(土)
	無料	救命救急講座・(10月7日(土)・1月26日(金)) ※名古屋より普通救命講習修了証を交付
	¥1,000	防災・減災ツアー [三の丸] 10月17日(火)
	¥1,000	防災・減災ツアー [歴史地震] 10月21日(土)
合計	¥	

※申込みいただいた個人情報責任を持って管理し、目的外の使用は致しません。